

2021 年度第 17 回理事会 議事要旨

- 1 開催日時 令和 4 年 7 月 30 日（土） 11：00
- 1 開催場所 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2
Japan Sport Olympic Square 会議室 3
- 1 理事総数 19 名
- 1 出席理事 15 名
武井 壮、青木 雄介、浅井 直樹、飯田 徳光、岡本 純典、釜谷 理恵、
蕭 敬如、末松 英司、須賀 千鶴、菅原 智恵子、辻村 眞一郎、
土肥美智子、村上 幸生、諸江 克昭、米田 恵美
- 1 出席監事 1 名
清水 至、中村 規代実

【審議事項】

合宿等に係る助成金の申請の件 (提案者) 理事 浅井直樹

議長は、上記議案について青木理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、下記を前提に全会一致で承認可決された。

- ・強化本部からガイドラインを提示しこれを理事が確認をしたうえで、このガイドラインにのっとり内容であること。

協議の経過は以下のとおりである。

意見：合宿の内容として特段問題ないと考えますが、みなさんの意見をおうかがいしたい。雑誌の記者がいるかもしれないということは意識したほうがよい。

質問：この合宿において登山は必須要件なのか。

回答：高地での合宿であり、参加者全体で一つのことを目指す登山が可能であることからメニューに含めた。

質問：登山ガイドに要する費用は助成対象なのか。

回答：参加者の自己負担を想定している。

質問：参加者はこのような合宿に参加したいものなのか。

回答：シーズンインにあたっては、いきなりフェンシングではなくこのような内容の合宿がよいと選手も考えている。

質問：全額自己負担にはできないのか。

回答：コーチ、スタッフに対して自己負担を求めるのは適切ではないと考える。

質問：スタッフとしてはフィジカルトレーナーだけにすることは難しいのか。

回答：この合宿だけでなく全体としての選手の管理の観点で、コーチの参加が必要である。

質問：コーチに自己負担を求めない場合に、助成申請／協会独自財源、の選択があると思うが助成申請にする理由は何か。

回答：コーチは助成対象となる作業を実施するからである。

意見：合宿の内容の妥当性について、理事会で審議することなのか疑問である。何を理事会で議論すべきか。

意見：助成金の対象が明確になっていて、これにのっとりいけばよいのではないかと。

意見：助成対象とするかどうかのガイドラインを作成することになっているが、まだ作成されていない。この状況なので、今回の合宿について助成申請の妥当性を審議していただくというのが本件の趣旨と理解している。

意見：早くガイドラインを作成すべきである。

意見：早急にガイドラインを提示する。合宿までに作成する。

男女エペ沖縄合宿の費用負担について

(提案者) 理事 浅井直樹

議長は、上記議案について浅井理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、下記のとおり全会一致で承認可決された。

- ・協会の自主財源で負担する。

協議の経過は以下のとおりである。

意見：費用負担のあり方について確認をしたい。

意見：助成申請をしないということは、協会の自主財源を使うことになる。

意見：費用負担としては、助成申請する、協会の財源を使う、自己負担とする、の3つになる。選手に自己負担を求めないということを確認したい。

【報告事項】

- 1 選手等の教育及び運用プロセスの透明化について (提案者) 理事 武井壮
- 2 2022 世界ベテラン選手権大会派遣選手の決定について (提案者) 理事 村上幸生
- 3 理事候補者選考委員会により理事候補者の選考について (提案者) 理事 辻村眞一郎